

# カラークリエイター プラス 子育てカラークリエイター

第6回

～ものづくり編～

絞り染めで遊ぼう！



～ものづくり編～

## 絞り染めで遊ぼう！

染色の技法の一つに絞り染めというものがあります。

糸で生地を括ったり  
針で縫い、縫ったところを手繰り絞ったりします。  
木の板や、輪ゴムで簡単にできる方法もあり  
お子様と一緒に楽しむことも可能です。



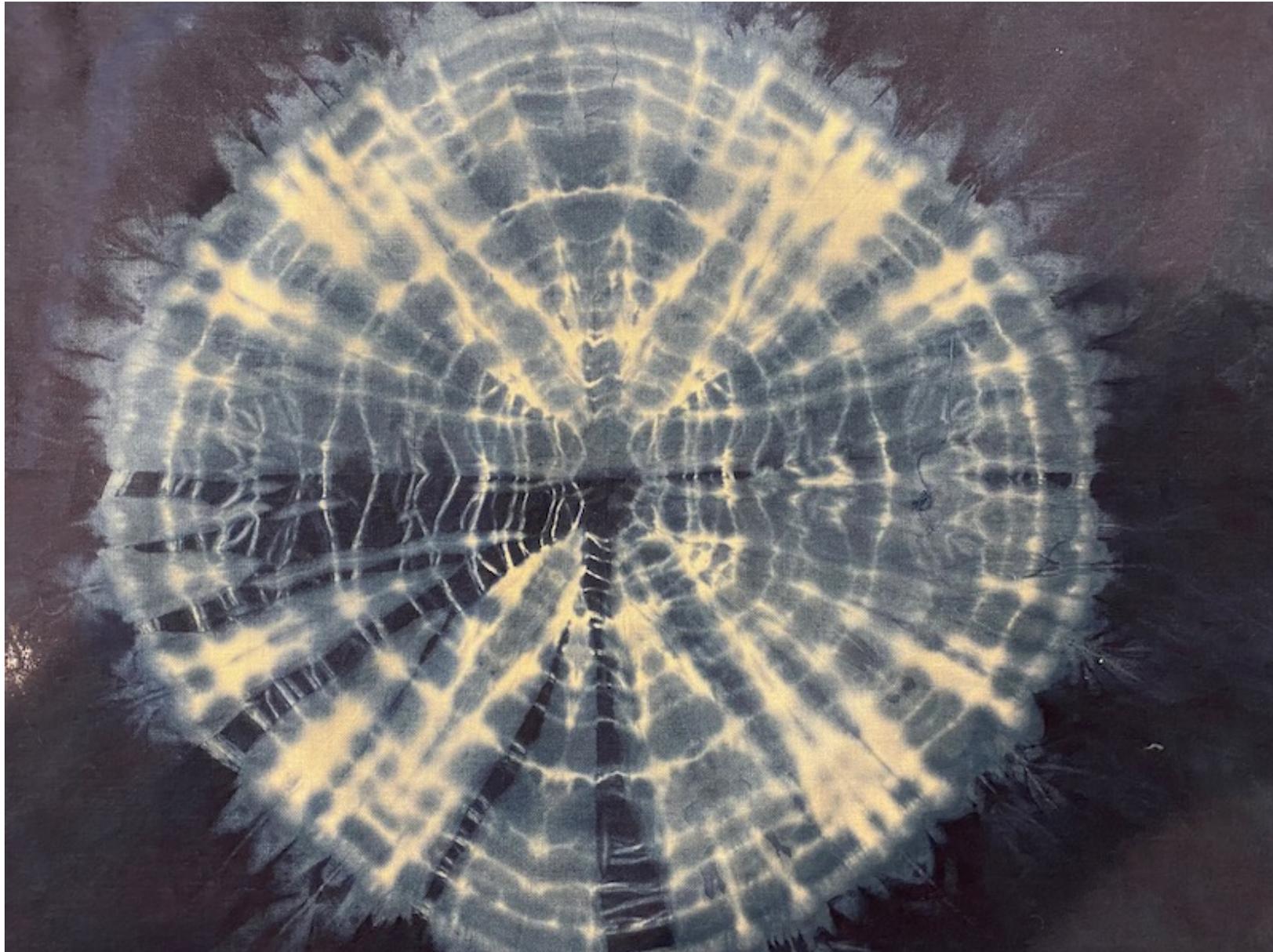
# ～用意するもの～

- 染料（草木染めの材料でも可能）
- 生地  
（綿、麻、絹、）
- 輪ゴム、風糸
- 板の切れ端など
- 万力（あれば）
- ハサミ



～色々な絞り方～





©Yamada Nagisa 2022





- 1、生地の中心を掴む
- 2、反対の手で残った生地を下に引くようにして集める。
- 3、集めた所から生地に向かって輪ゴムできつく縛り上げていく。









1、生地の端から2cmほどの幅で  
蛇腹に折りたたむ。

2、畳んだ生地の中ん中から輪ゴムで  
キツく縛る









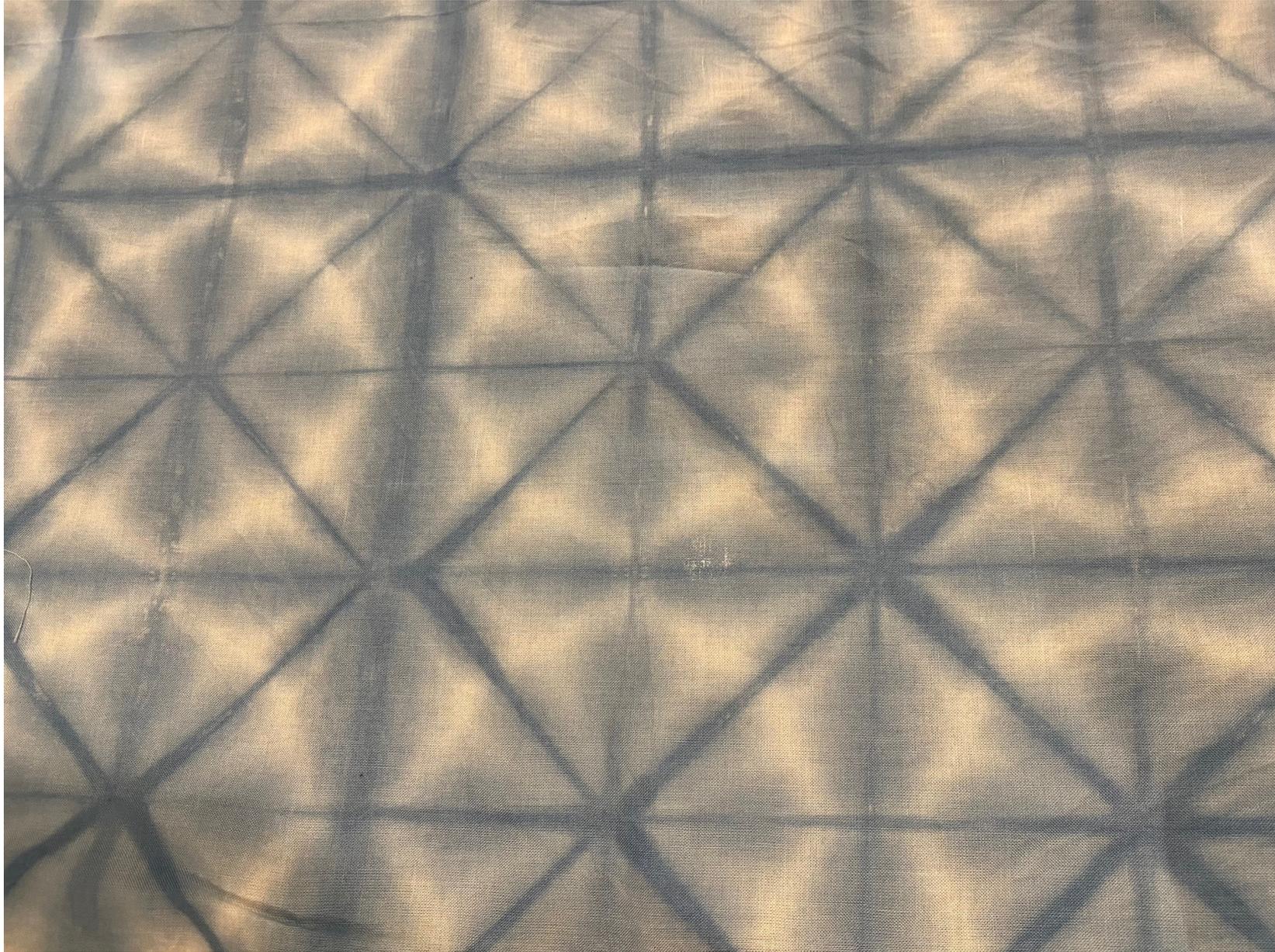
1、生地から5cmほどの幅で蛇腹に折りたたむ。

2、板で生地を挟む

3、輪ゴムでキツく縛る。

※側面に輪ゴムの痕がつかないように折り畳んだ生地より長い幅の板で挟んでいます。







- 1、生地の手元から5cmほどの幅で蛇腹に折りたたむ。
- 2、細長い長方形になったらそこからさらに三角になるよう、また蛇腹に折り畳んでく。
- 3、三角の板で両側を挟む。
- 4、輪ゴム、もしくは万力を使ってキツく絞る。









- 1、生地から5cmほどの幅で縦横ともに蛇腹に折りたたむ。
- 2、ペットボトルのキャップで両側から生地を挟む。
- 3、さらにその上から生地幅より長い板で挟む。
- 4、輪ゴムを使ってキツく絞る。

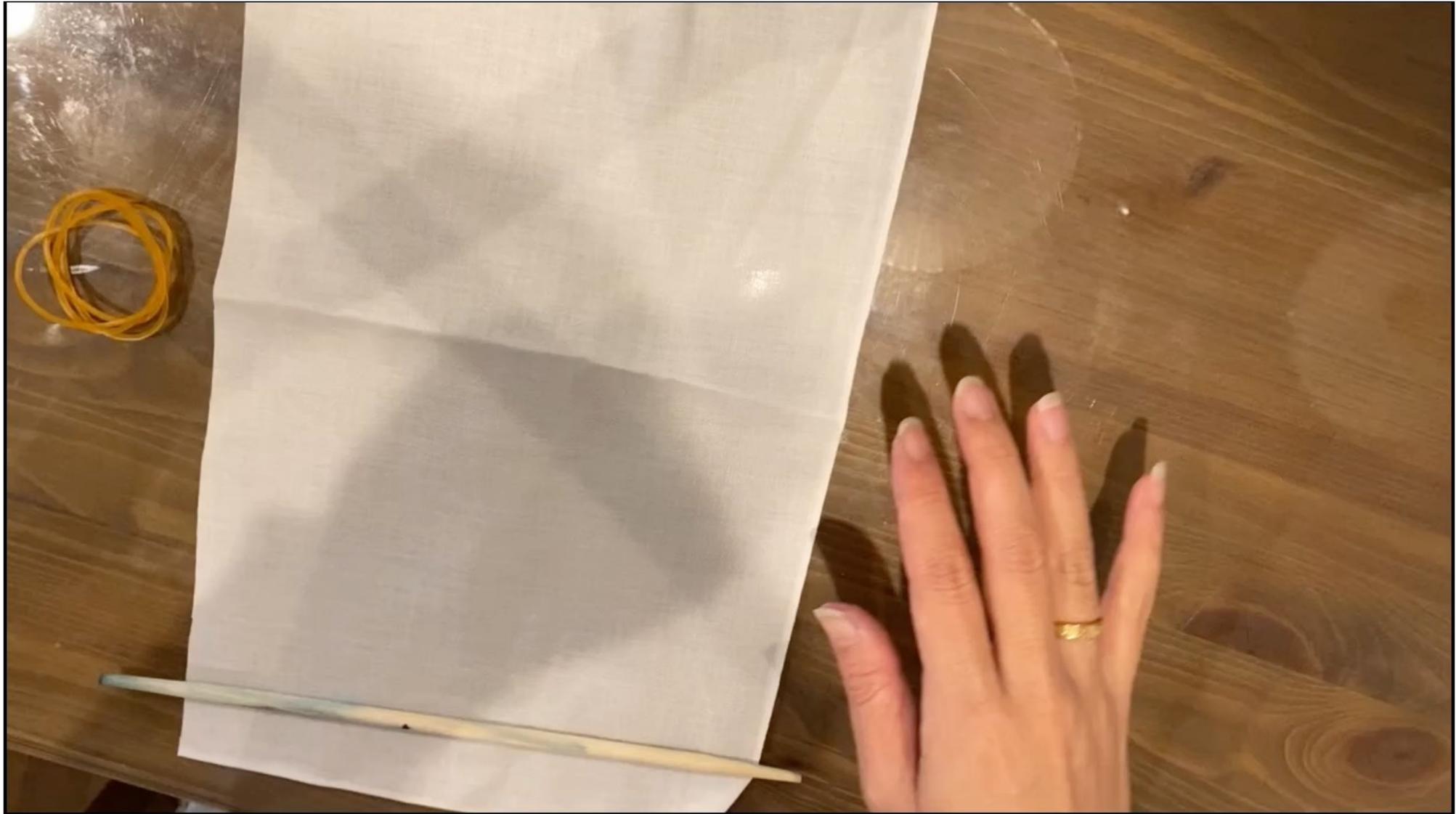






- 1、割り箸に生地をゆるめに巻きつけていく。
- 2、輪ゴムで括る。
- 3、生地 of 両端から、真ん中に向かってギュッと生地を押し集める。
- 4、真ん中に集まった生地が戻らないよう、両端をさらに輪ゴムで止める。









- 1、生地を適当に集める  
(この時外側に出ている面が染まります)
- 2、輪ゴムで括る。  
(縛り方の強さで、中の生地の染まり方が変わります。)
- 3、染めて水洗いし、  
輪ゴムを解いてみてから  
内側が白すぎると感じた時は  
最初の工程から繰り返す。









- 1、 図柄を出したい部分が  
重なるように折りたたむ。  
(この時内側のシワに注意)
- 2、 万力を使ってキツく挟む。







次回は・・・

